

# 国際競争力強化のための知財戦略

平成20年6月14日

参議院議員

(元科学技術政策担当大臣)

松田 岩夫

# グローバルな競争環境の変化

---

技術革新・市場変化のスピード・アップ

技術の高度化・複雑化

基本特許の国際争奪戦の激化

# 世界の知財戦略の潮流

---

内外のリソースを積極的に活用する

**オープン・イノベーションの進展**

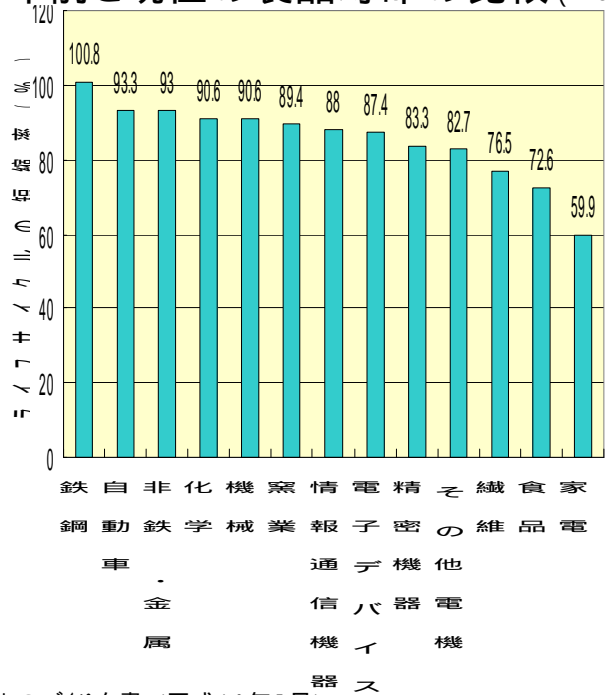
**基本特許・周辺特許の確保と迅速な事業化**

**知財の世界市場への展開の加速**

# イノベーション加速のために

## 製品サイクルの短縮化

5年前と現在の製品寿命の比較 (%)



(出典)

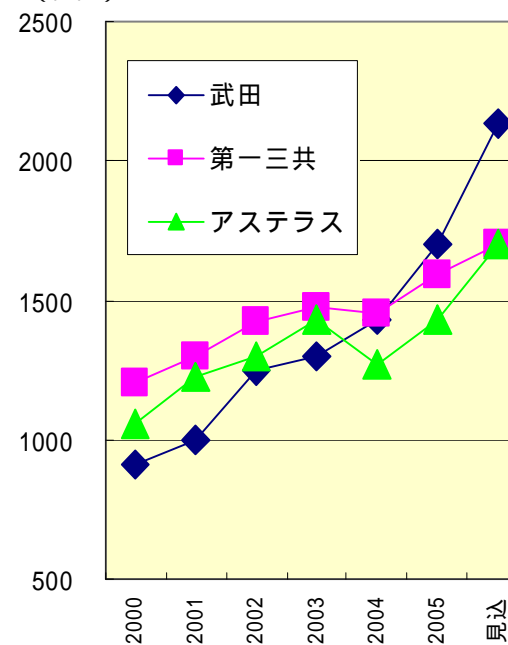
「2007年版ものづくり白書」(平成19年5月)

(注)ライフサイクル短縮率 = 主力製品の現在のライフサイクル年数(産業別平均値) / 主力製品の5年前のライフサイクル年数(産業別平均値)

## 研究開発投資の上昇

我が国主要製薬企業の研究開発費

(億円)



(出典)

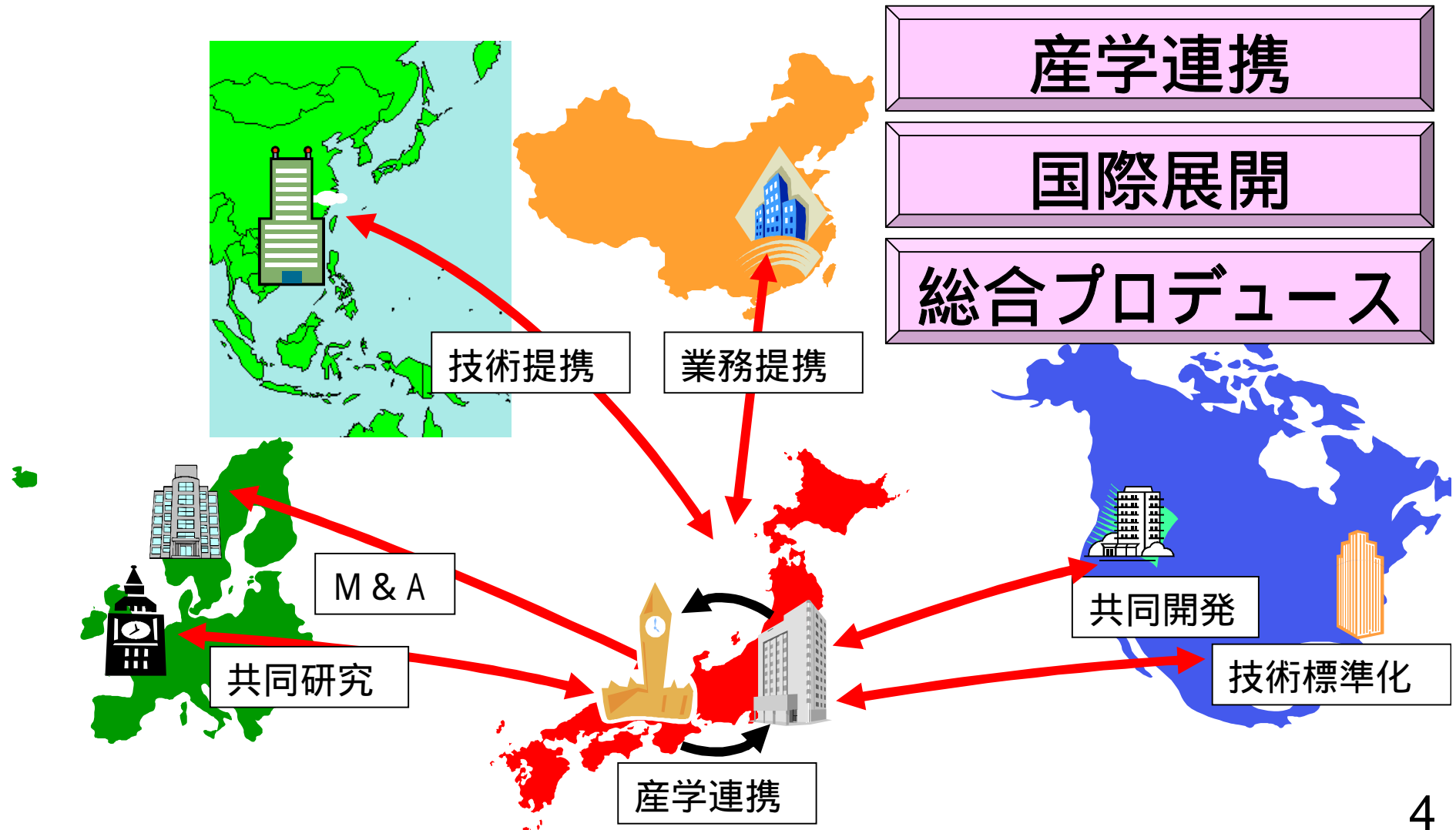
医薬産業政策研究所「製薬産業の将来像～2015年に向けた産業の使命と課題～」(平成19年5月)

課題

いかに迅速に技術を市場化するか  
いかに研究開発投資効率を高めるか

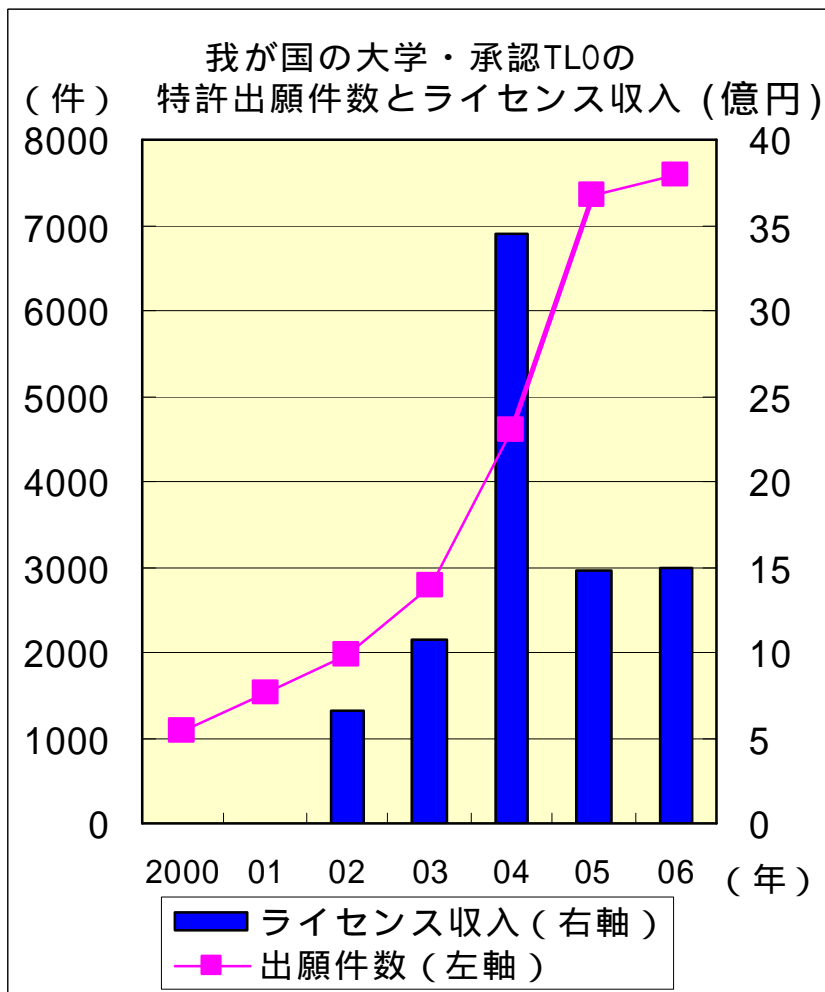
# オープン・イノベーション

内外の知財の高度な組合せによる新たな価値創造

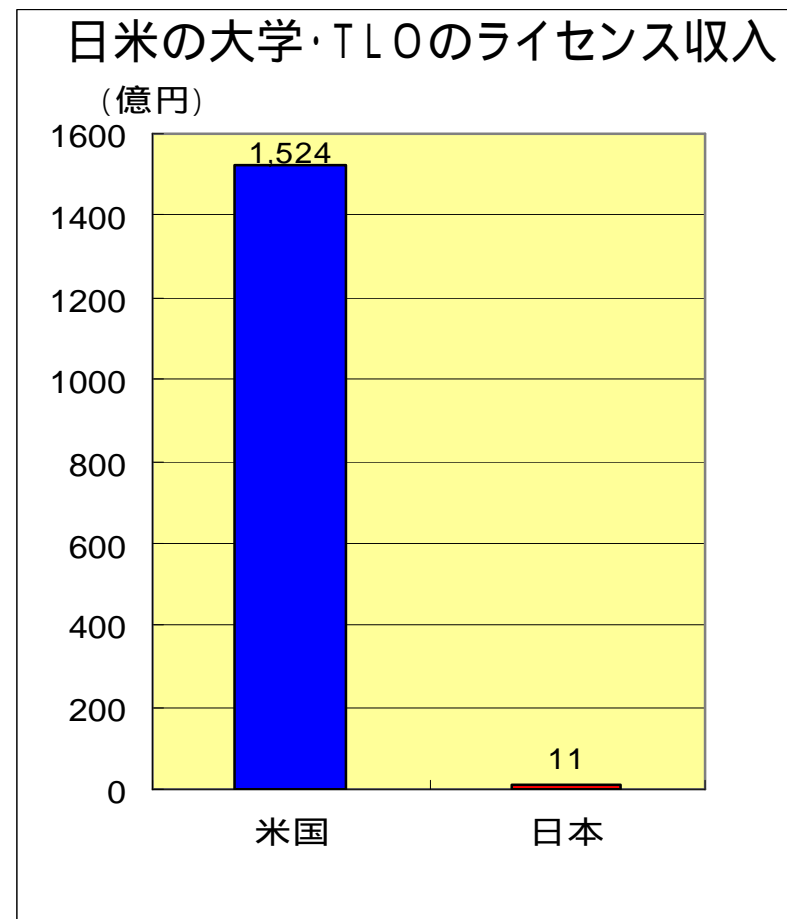


# 大学からの知財移転は停滞

大学のライセンス収入は横ばい傾向、米国の1 / 100以下



(資料)出願件数 特許庁「特許行政年次報告書 2007年版」。ライセンス収入はTLOと大学のライセンス収入の合計値(文部科学省、経済産業省調べ)。なお、大学の収入は2002年は国立大学等、2003年は国公立私立大学等を対象



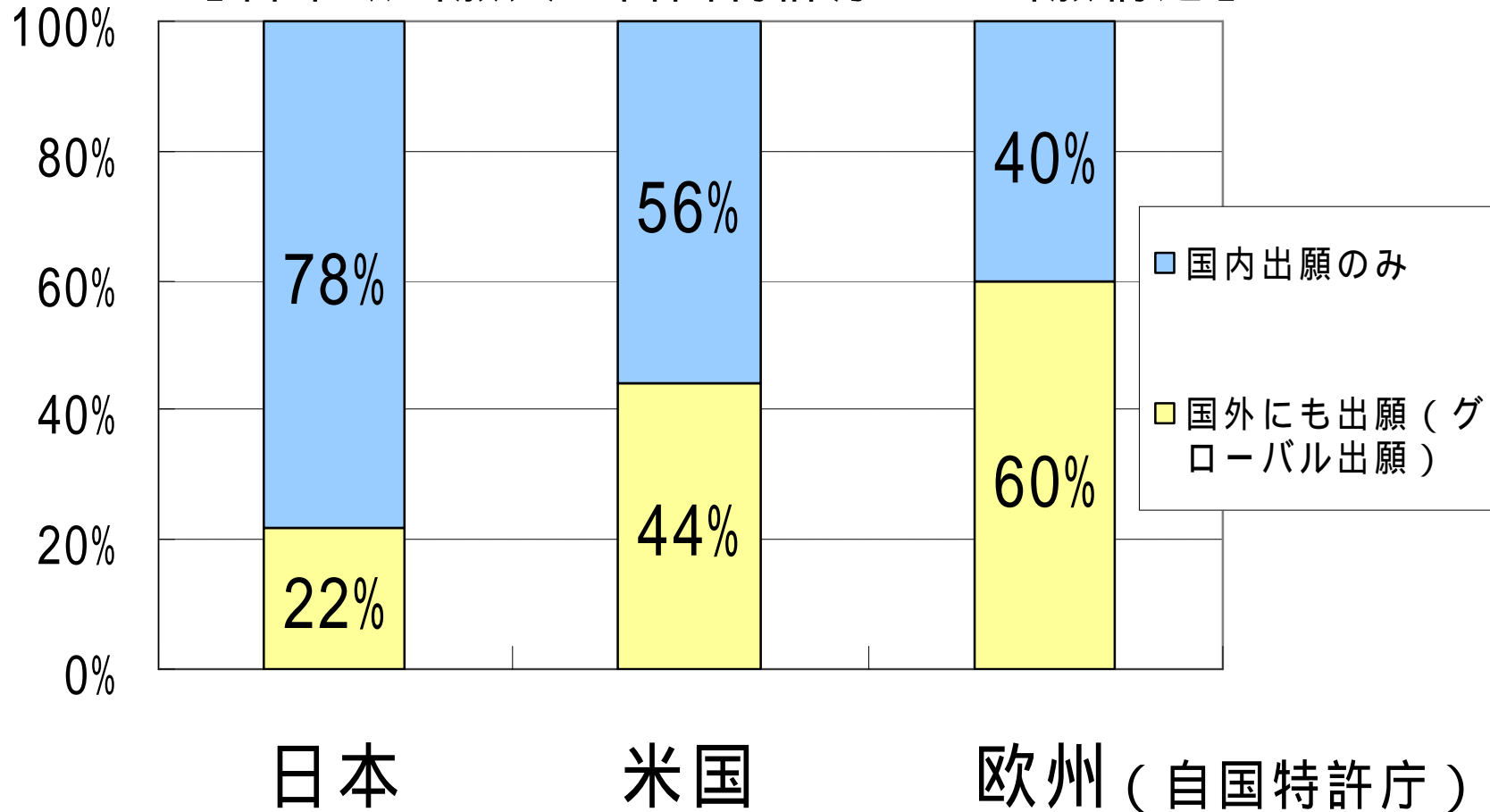
(出典)AUTM Licensing Survey 2004

発明協会「大学技術移転サーベイ 大学知的財産年報 2006年度版」。1ドル = 110円で換算。

# 国際市場展開に遅れ

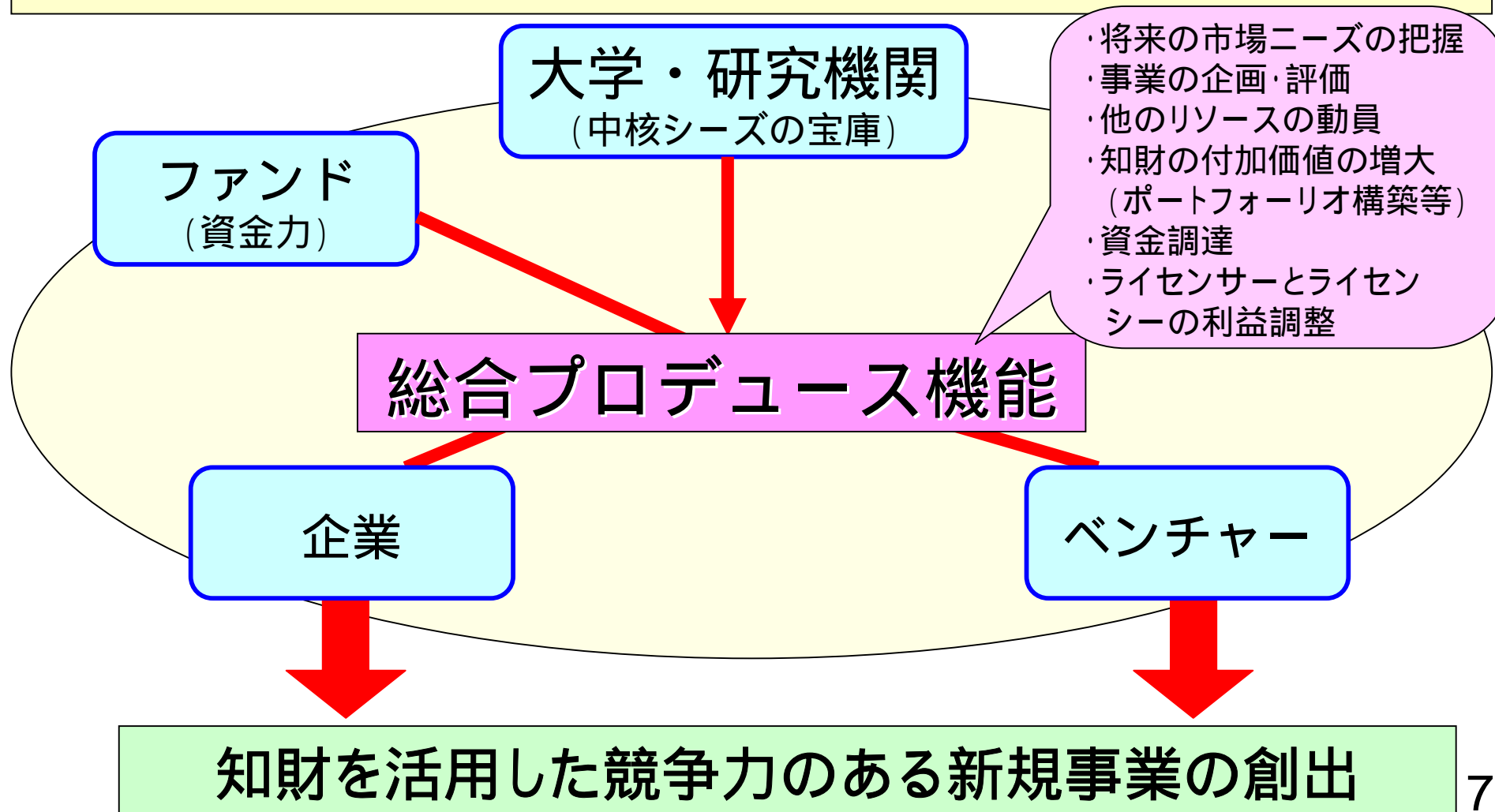
我が国の海外出願比率は欧米の1 / 2以下

【日米欧出願人の自国特許庁への出願構造】



# 総合プロデュース機能

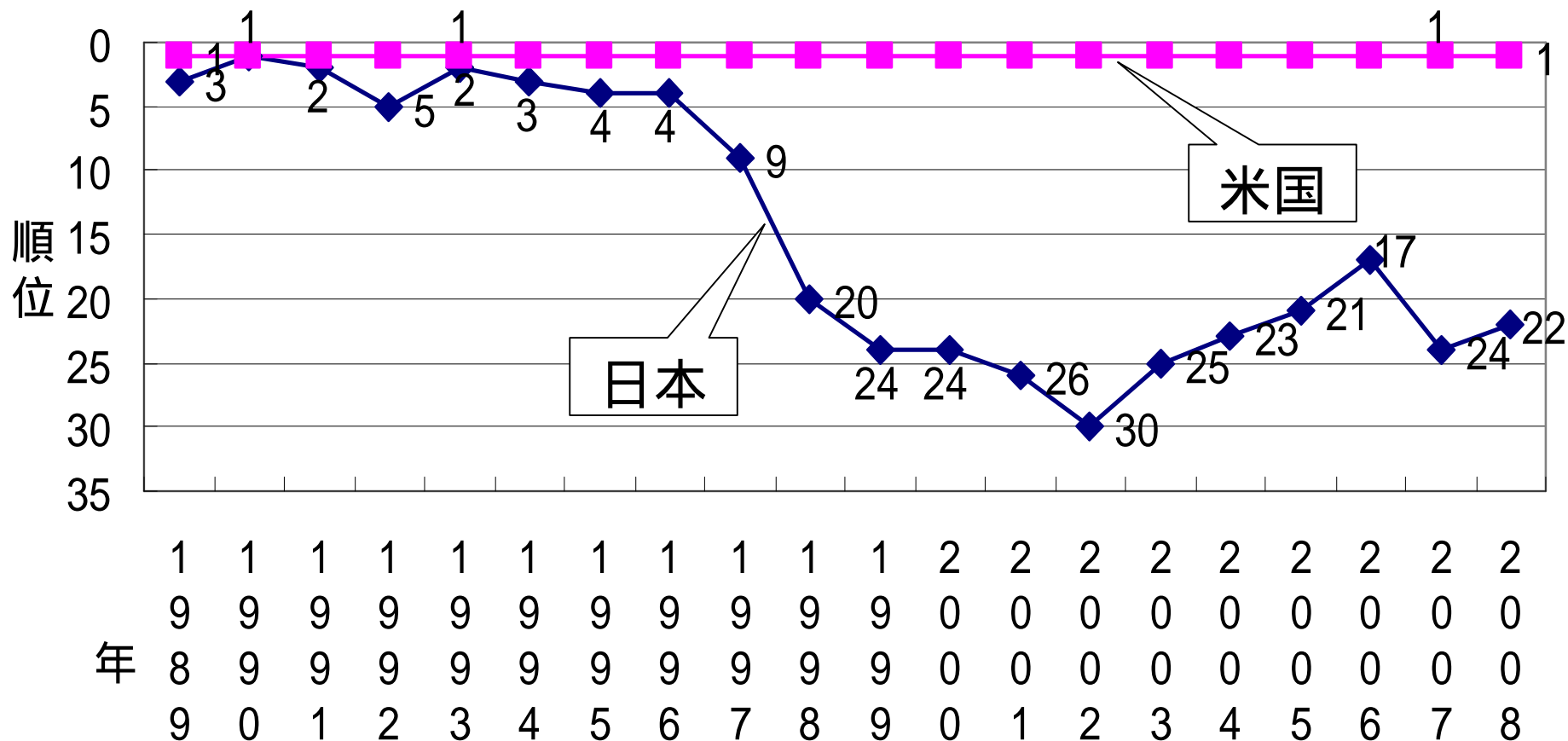
知財と事業を一体的かつ総合的に評価し、他の外部リソースを導入して新事業を立ち上げ





# IMD 国際競争力ランキング

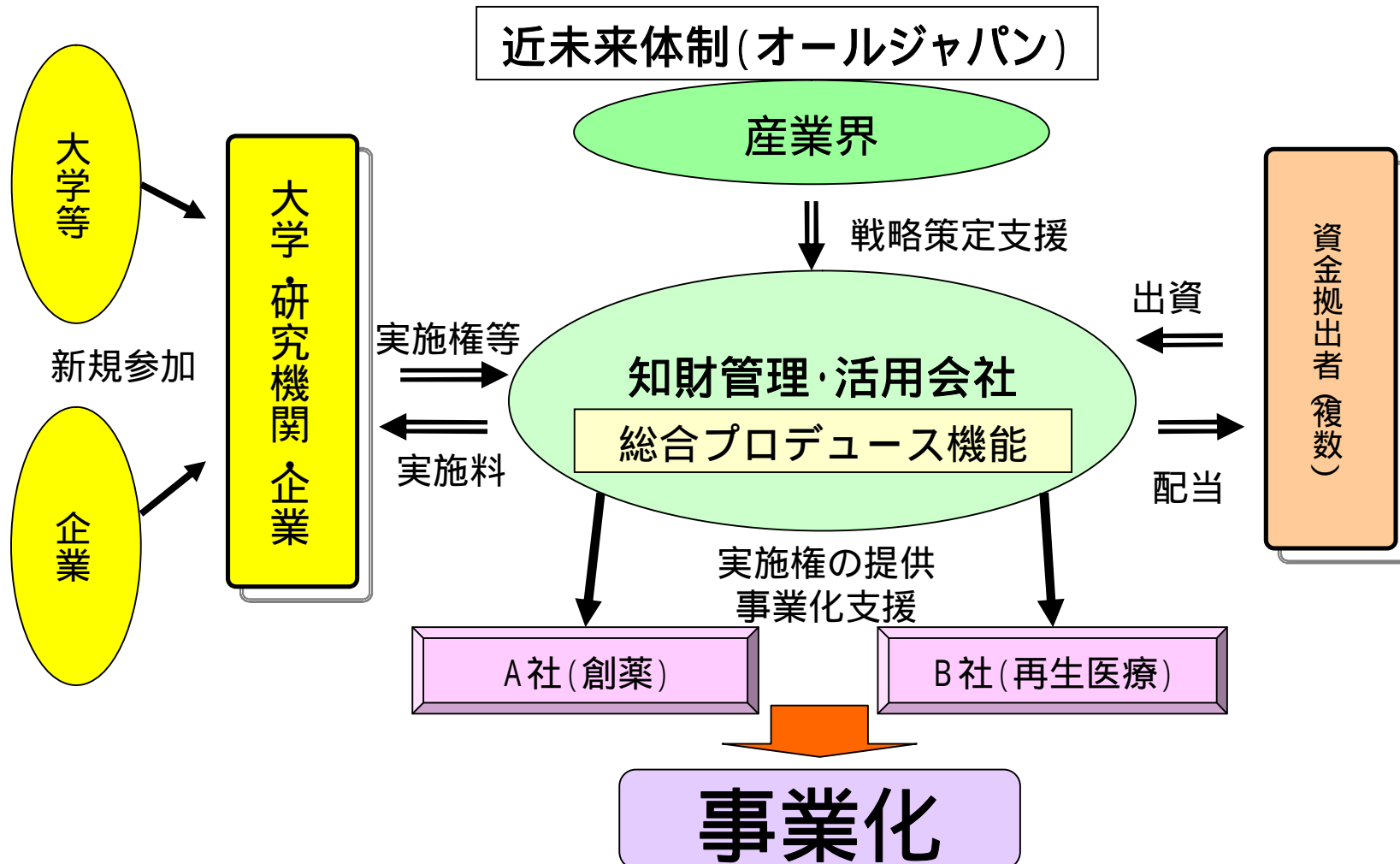
我が国は20位台に低迷



(備考) 評価基準が変更されているため、厳密な意味で統計の連続性はない。  
 (資料) IMD「The World Competitiveness Yearbook」から作成。

# iPS細胞の事業化が試金石

iPS細胞の研究・事業化支援は、産学連携・国際展開・総合プロデュースの強化の試金石



# 科学技術政策の新展開

## 科学技術の国際競争力の抜本的強化

- ・「研究開発力強化法」に基づく研究開発の国際競争力強化等  
優秀な研究人材の確保、人材交流の促進、会計制度の柔軟な運用  
「スーパー特区」等の取組の推進  
公的研究機関の施設等を地域の企業等に開放
- ・世界の追随を許さない革新的技術の官民を挙げた戦略的推進  
(iPS細胞研究、次世代半導体技術、レアメタル代替技術等)  
革新的技術推進費の創設、総合科学技術会議の司令塔機能の強化

## 健康研究の総合的かつ強力な推進

- ・「健康研究推進会議(仮称)」の創設  
橋渡し研究と臨床研究の一層の強化を目指し、政策を遂行していくための司令塔機能を設置
- ・「医薬品庁(仮称)」の創設  
「医薬品」、「医療機器」に加え「生物由来製品」の審査・安全対策等の薬事行政を一括して行う新たな組織を、医薬品産業や医療行政を所管する厚生労働省とは距離を持って設置

ご清聴ありがとうございました。